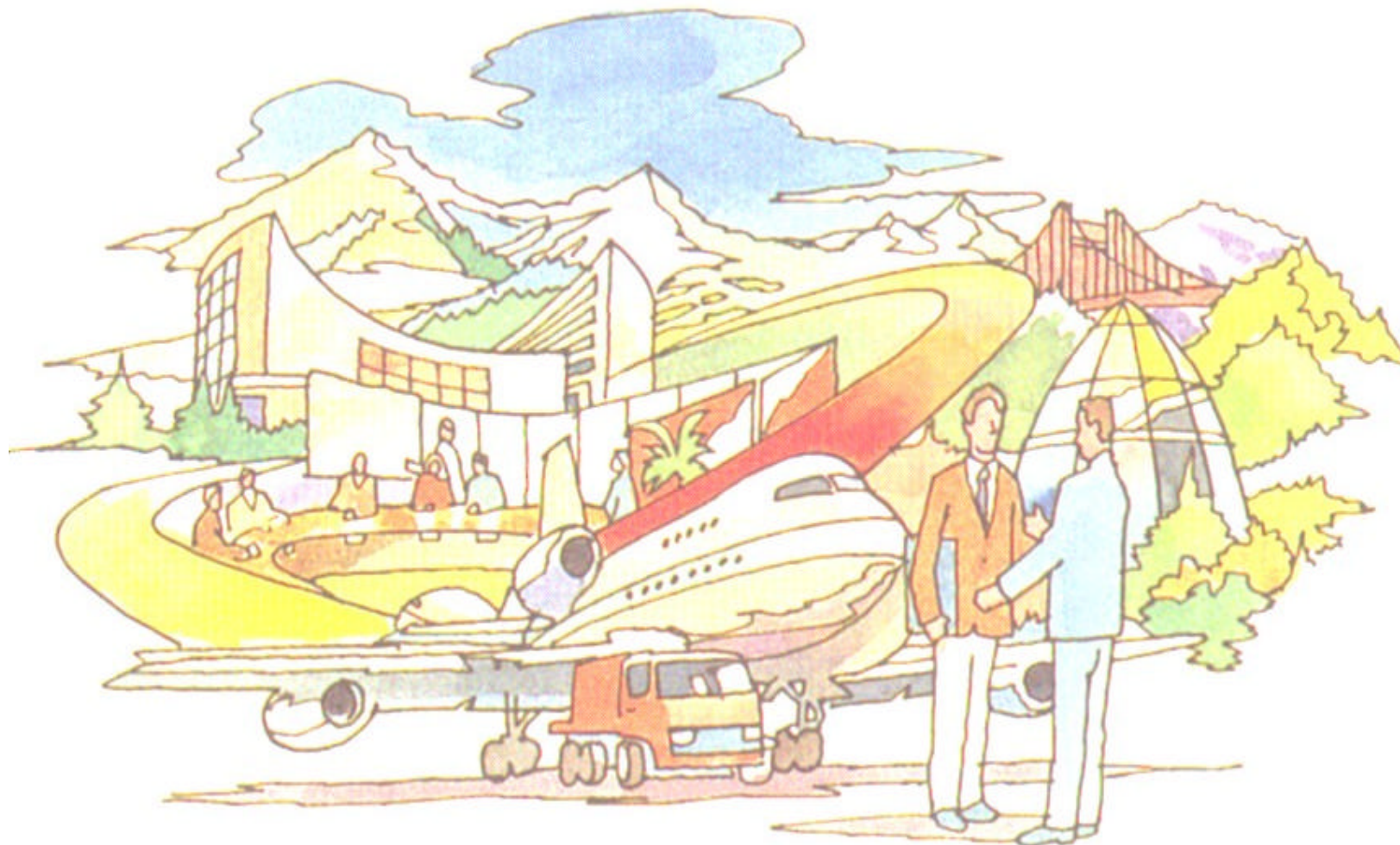


1 世界に開かれた圏域の形成

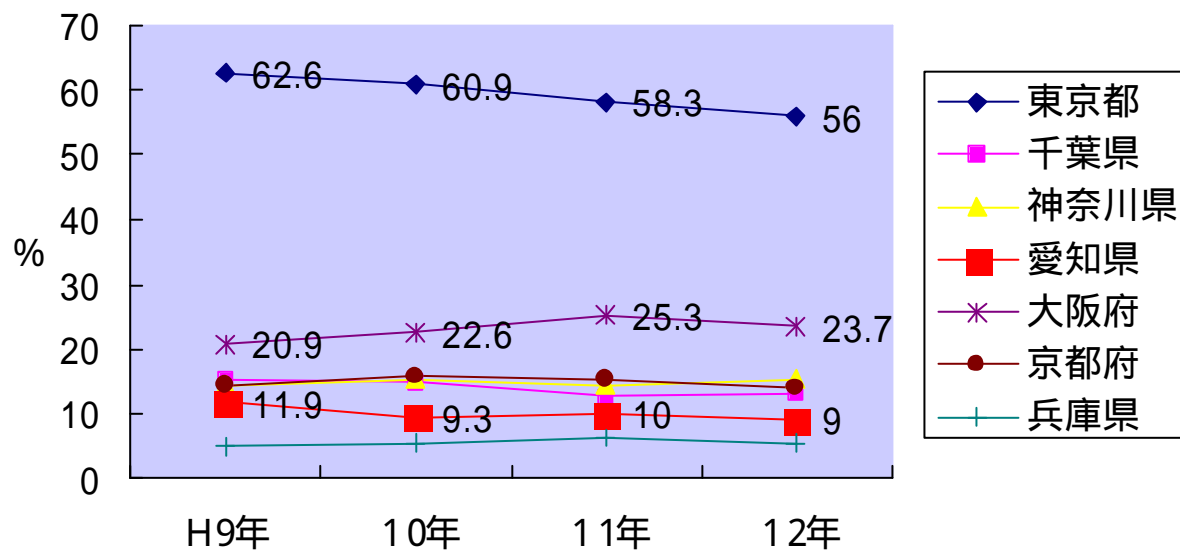


1 世界に開かれた圏域の形成 (主要課題)

訪日外国人旅行者の訪問状況

中部圏で最も訪問率が高い愛知県でも、10%前後であり 他圏域の主要都市と比べ低い。

訪日外国人旅行者の訪問率



注:訪問率 = 訪日外国人旅行者のうち当該県を訪れた人の割合

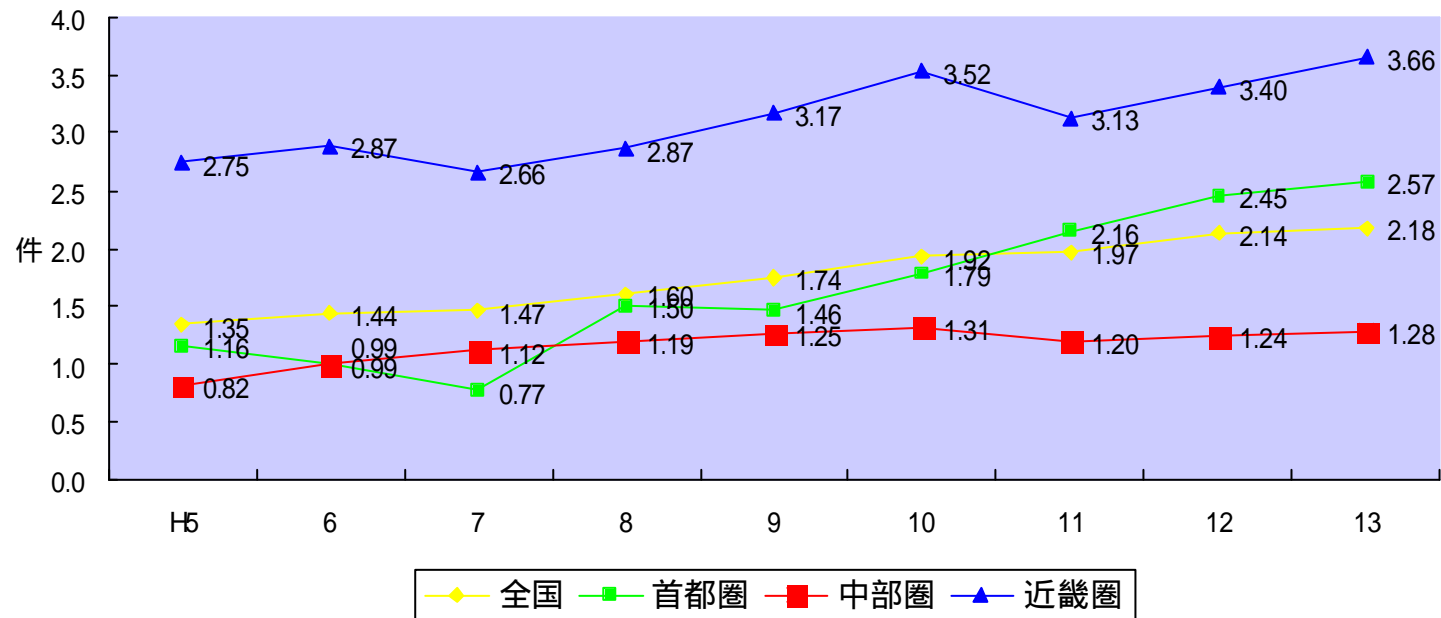
資料:国際観光振興会「訪日外国人旅行者調査」により国土交通省国土計画局作成

1 世界に開かれた圏域の形成 (主要課題)

コンベンション機能の状況

他圏域に比べ国際会議の開催件数が少なく、また伸びも小さい。

人口10万人あたりの国際会議開催件数



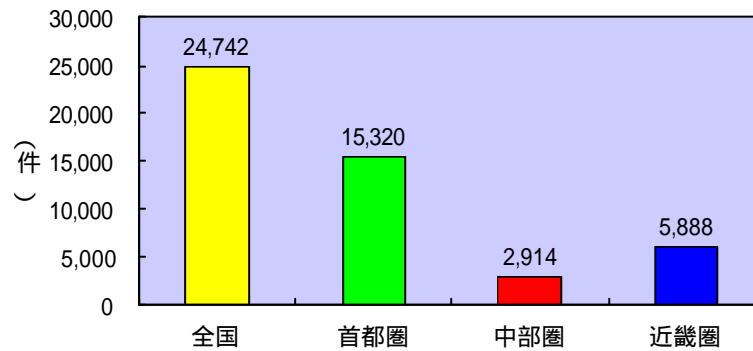
資料 国際観光協会「コンベンション統計」により国土交通省国土計画局作成

1 世界に開かれた圏域の形成 (主要課題)

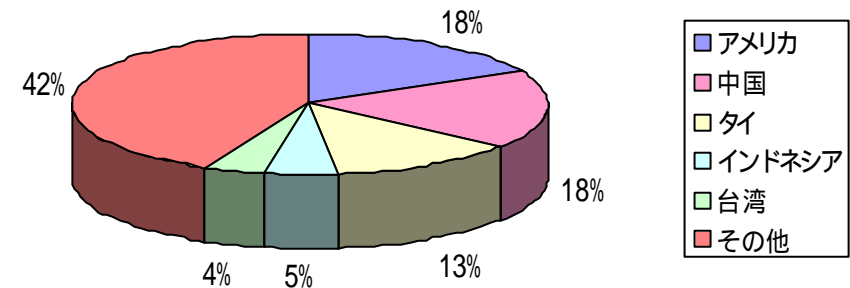
企業の海外進出の状況

中部圏から海外に進出している企業はアメリカ、中国を中心に2900を超える。

海外進出企業数 (平成14年)



海外進出企業進出先シェア (平成14年)



注：海外進出企業：

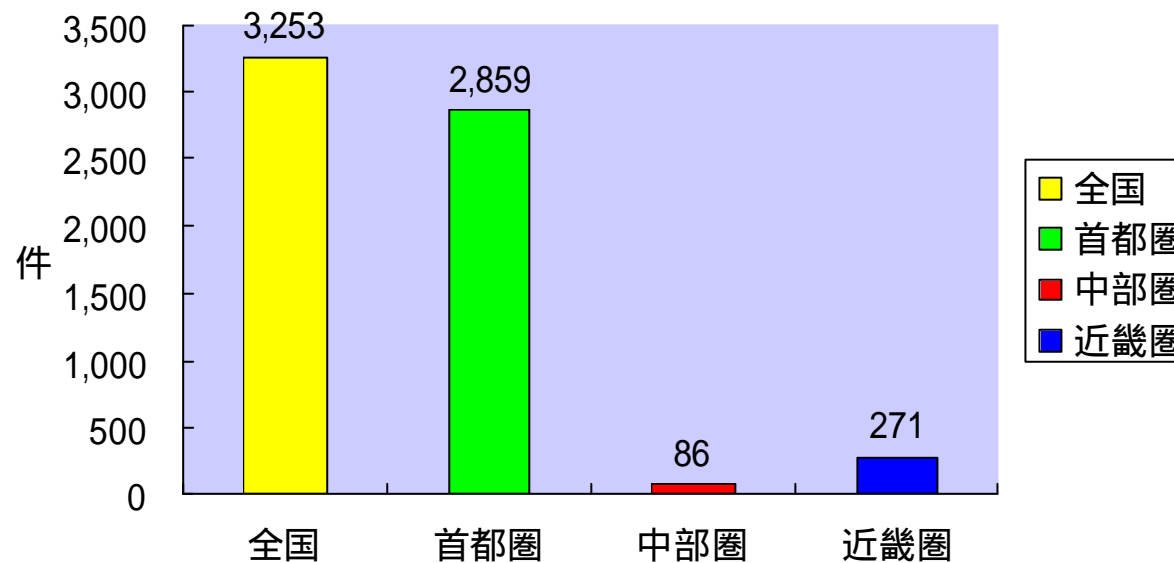
中部圏に本社を置く企業の海外現地法人数 (海外出資比率の合計が10%以上)

1 世界に開かれた圏域の形成 (主要課題)

外資系企業の進出状況

一方、中部圏に進出している外資系企業数は100にも満たない。

外資系企業進出件数 (平成13年)



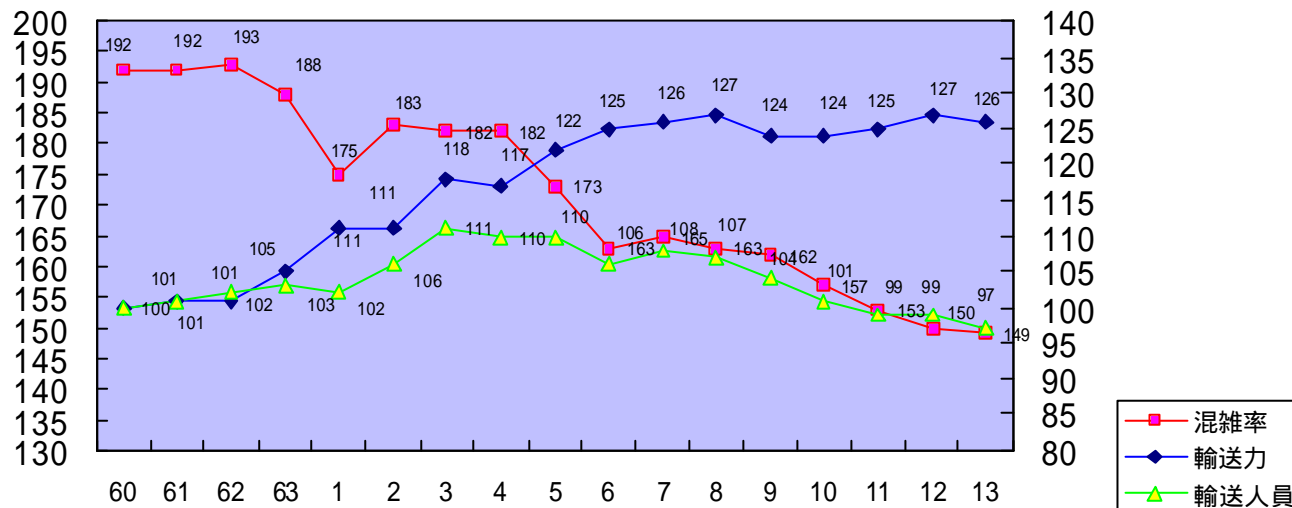
注 :外資系企業 資本金5000万円以上、外資の比率49%以上の企業とする。ただし株式公開、上場企業についてはこの基準以外の企業も含む。

資料 :東洋経済新報社「外資系企業総覧」より国土交通省国土計画局作成

1 世界に開かれた圏域の形成 (主要課題)

鉄道混雑の状況

混雑率は年々低下してきている。



注 輸送力、輸送人員は、昭和60年度を100とした伸び

$$\text{混雑率} = (\text{輸送人員}) \div (\text{輸送力}) \quad (\%)$$

名古屋圏の主要なJR、地下鉄、大手民鉄路線(8路線)最混雑区間の平均値

平成元年はJRを除く6路線の最混雑区間の平均値

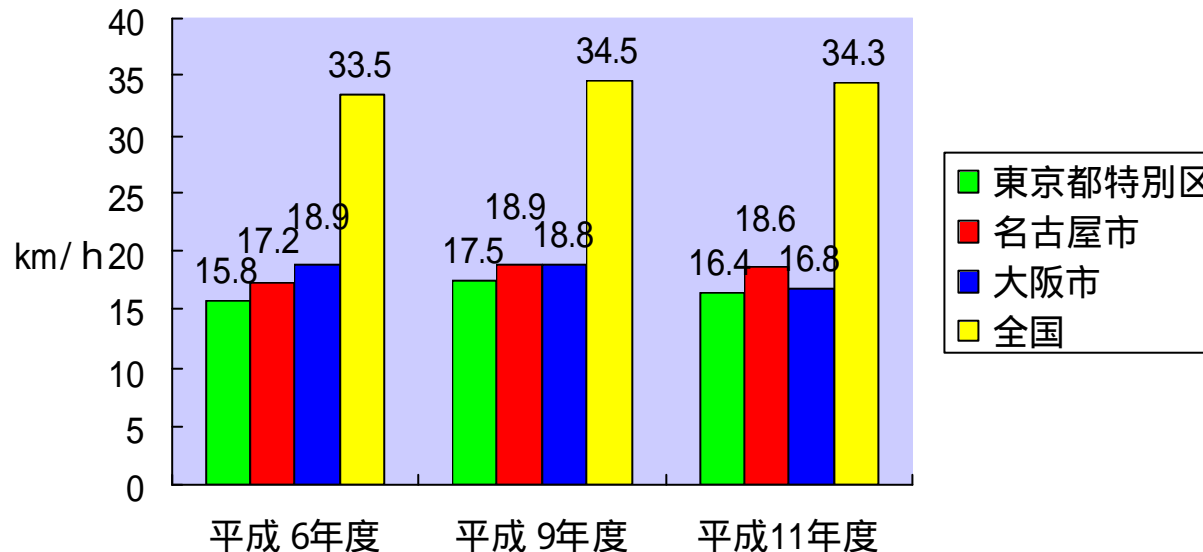
資料：「数字でみる鉄道」等により国土交通省国土計画局作成

1 世界に開かれた圏域の形成 (主要課題)

道路混雑の状況 (一般道路)

名古屋市では全国平均を大きく下回る。

道路混雑時平均旅行速度 (一般道路計)



注 :道路混雑時平均旅行速度 = 道路混雑時に人が車で移動するときの 1時間あたりの平均移動距離。平日は朝夕のラッシュ時間帯 (午前 7時 ~ 午前 9時と午後 5時 ~ 午後 7時) のなかで最も混雑している時間帯を、休日は 1日の中で最も混雑している時間帯を調査時間帯としている。

資料 : 「道路交通センサス」により国土交通省国土計画局作成

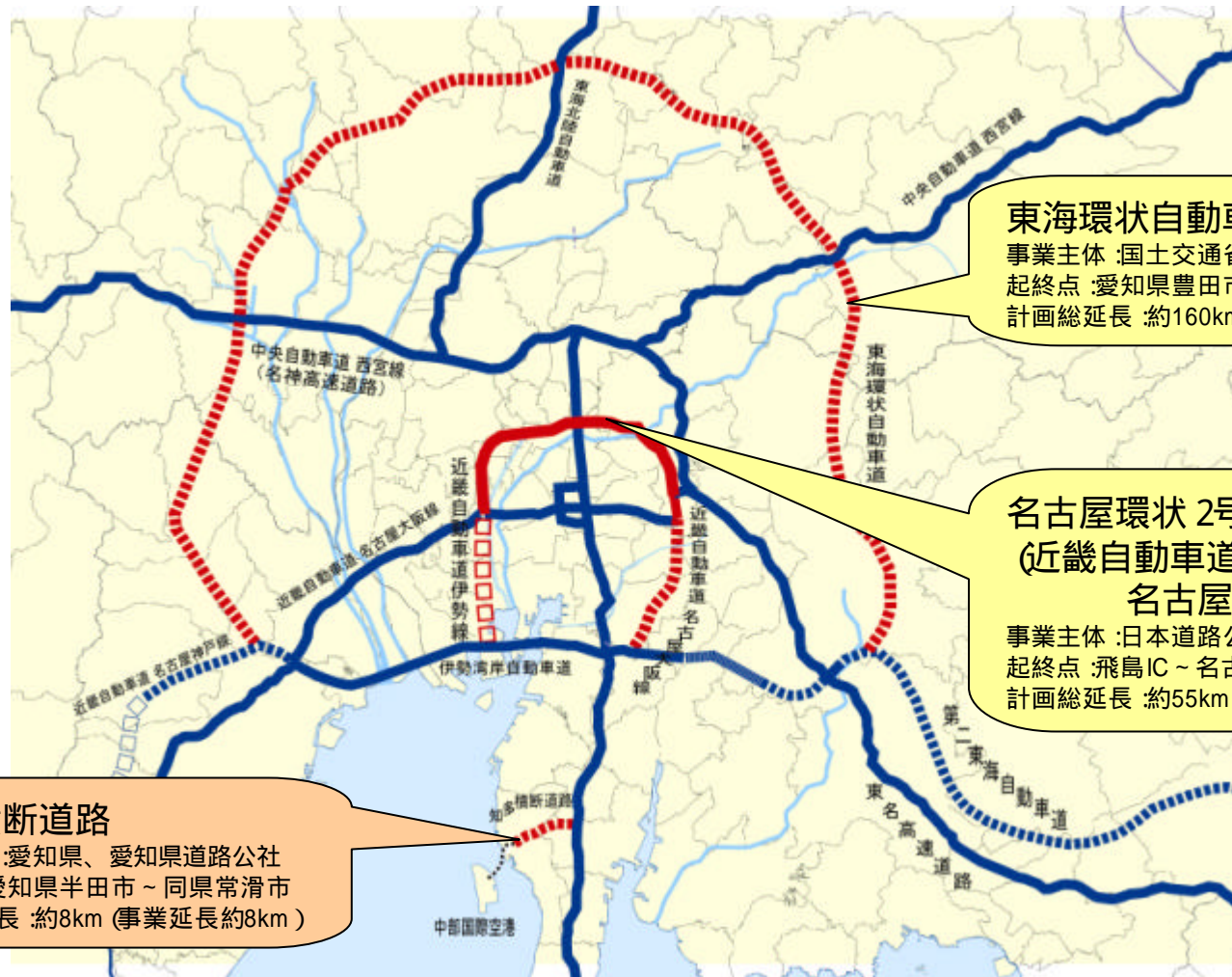


1 世界に開かれた圏域の形成

- 先進的産業技術、豊かな自然等の資質の活用
 - 中部国際空港の開港、愛・地球博 (2005年日本国際博覧会) の開催等のインパクトの活用
 - 独自の国際的役割を担い、内外の訪問者に選択される魅力ある創造圏域の形成を目指す
- 

1 世界に開かれた圏域の形成 (主要事業)

名古屋大都市地域における新たな道路体系



東海環状自動車道

事業主体 : 国土交通省、日本道路公団
起終点 : 愛知県豊田市 ~ 三重県四日市市
計画総延長 : 約160km (事業延長約160km)

名古屋環状2号線 (近畿自動車道伊勢線及び 名古屋大阪線の一部)

事業主体 : 日本道路公団
起終点 : 飛島IC ~ 名古屋南IC
計画総延長 : 約55km (事業延長約12km)

知多横断道路

事業主体 : 愛知県、愛知県道路公社
起終点 : 愛知県半田市 ~ 同県常滑市
計画総延長 : 約8km (事業延長約8km)

1 世界に開かれた圏域の形成 (主要事業)

東部丘陵線 (新交通システム)

- 事業主体 :愛知県、名古屋市
- 総事業費 :約670億円
- 平成15年度事業費 :約212億円
- 平成15年度事業内容
橋梁上部工、シールドトンネル工、駅舎建築工等
- 区 間 :藤ヶ丘駅 (仮称)
~ 八草駅 (仮称)
- 延 長 :9.2km
- 完成予定 :平成 16年度



資料：愛知県

1 世界に開かれた圏域の形成 (主要事業)

名古屋市 4号線

- 事業主体 :名古屋市
- 事業区間 :大曾根 ~ 新瑞橋
- 総事業費 :約2,610億円
(市公表ベース)
- 平成15年度事業費 :
約148億円
- 事業延長 :約11.3 km
(約1.4 km部分開業)
- 平成15年度事業内容 :
駅設備工事等
- 完成予定 :平成15年12月
砂田橋 ~ 名古屋大学
平成16年度
名古屋大学 ~ 新瑞橋



資料 :名古屋市

1 世界に開かれた圏域の形成 (主要事業)

国際海上コンテナターミナルの整備 (名古屋港)

- 事業主体 :国
- 総事業費 :約149億円(岸壁)
- 平成15年度事業費 51億円
- 岸壁延長 :350m
- 岸壁水深 :-16m
- 平成15年度事業内容 :
岸壁 (-16m)の整備
- 経緯 予定
平成14年度 着工
平成17年度 完成予定



資料 国土交通省

1 世界に開かれた圏域の形成 (主要事業)

中部国際空港

- 事業主体 :中部国際空港株式会社
- 種 別 第一種空港
- 総事業費 :約7,680億円
- 平成15年度事業費 823億円
- 滑走路長 3,500m
- 平成15年度事業内容 :
滑走路、旅客ターミナルビル等の整備
- 経緯 予定
平成12年度 着工
平成17年 開港予定



資料 :中部国際空港株式会社

1 世界に開かれた圏域の形成 (主要事業)

ささしまライブ24 (土地区画整理事業)

- 事業主体 :名古屋市
- 事業期間 :平成11年度～平成21年度
- 総事業費 280億円
- 平成15年度事業費 :
約 8億円 (うち国費約 2億円)
- 平成15年度事業内容 :
工作物移転、公共施設整備等
- 地区面積 22.1ha
- 経緯 :
昭和61年度 笹島貨物駅機能廃止
平成11年度 土地区画整理事業の認可
平成14年度 都市再生緊急整備地域
(第二次指定)に指定される

